



ニュースレター Vol.11

2016年8月吉日

一般財団法人産業遺産国民会議

今号のトピックス

1. デジタル・ドキュメンテーション展が荒尾市にて開催中
2. 明治日本の産業革命遺産の紹介動画が
日本航空（国際線）の機内プログラムとなりました
3. 記念メダル・切手発売がスコットランドメディアに報じ
られています
4. 「テーマ別観光による地方誘客事業」に
明治日本の産業革命遺産が選定されました。

1. デジタル・ドキュメンテーション展が 荒尾市にて開催中

デジタル・ドキュメンテーションの一環として、明治日本の産業革命遺産の構成資産が立地する8県を巡回する形で「リキッド・ギャラクシー」を展示しております。

「リキッド・ギャラクシー」とは、7面の大型ディスプレイを並べ、非常に高い臨場感のもと、GoogleストリートビューやGoogleアースを活用しながら、構成資産のことを気軽に学ぶことができる展示となっております。

8月8日付『有明新報』においても記事が紹介されております。

開催概要

日時：平成28年8月6日(土)～平成28年10月30日(日)

場所：万田坑ステーション ※入場無料



2. 明治日本の産業革命遺産の普及啓発用動画が 日本航空（国際線）の機内プログラムとなりました

明治日本の産業革命遺産について、分かりやすく解説している普及啓発用の動画が、2016年9月から12月にかけて、日本航空（国際線）の機内プログラムの1つとなります。

放映予定の路線は、下記の通りとなっており、プログラムから様々な動画を選ぶ形で、個人用画面から無料で視聴できます。



普及啓発用動画は、本年6月に開催された世界遺産ルート推進協議会設立総会においても上映されたもので、機内において、より多くの方々に幕末から明治にかけての日本の近代化の歩みを知っていただければと考えております。

こちらの動画は、弊財団ホームページの「ギャラリー」のページにおいてもご覧いただくことができます。（動画名：「明治日本の産業革命遺産」普及啓発用DVD）

<http://www.japansmeijiindustrialrevolution.com/gallery/>

3. 記念メダル・切手発売が

スコットランドメディアに報じられています

明治日本の産業革命遺産の構成資産にはスコットランドと深いつながりのあるものも多く、長崎県のジャイアント・カンチレバークレーンは同地から輸出され、同地出身商人のトーマス・B・グラバーにまつわる資産も数多くございます。また、スコティッシュ10のプロジェクトにより、端島炭坑・ジャイアント・カンチレバークレーン、第三船渠、小菅修船場の3D測量が実施され、資産のデジタル・ドキュメンテーションに大きく貢献していただいております。

現在までにインタープリテーション計画の一環にて、フレーム切手やプルーフメダルセットなどが発売されておりますが、これらにおいても測量データも活用したデザインが非常に好評を博しております。

現在スコットランドにおいて、同地とゆかりの深い切手やコインが発売されているとの報道がなされております。その中で、CDDV (Centre for digital documentation and visualisation)におけるプロジェクト・マネージャーのリン・ウィルソン博士は、



「スコティッシュ10プロジェクトのひとつとして、長崎を象徴するジャイアント・カンチレバークレーンや第三船渠、その他素晴らしい資産のデジタル・ドキュメンテーションに関わる機会を得たことを、大変嬉しく思っています。日本は、とりわけ良好な状態で保全されている重要な産業遺産にしっかりと誇りを持っています。

スコットランドの人々もまた、資産の多くがトーマス・B・グラバーのような先駆者によって設計、建設されたということに誇りを持つべきです。(略)切手やコインの発売は、単に明治日本の産業革命遺産の世界遺産登録を祝うだけでなく、日本の方々に資産への意識を高め、長い視野で資産を守り、スコットランドと日本の歴史的な結びつきを強めるものとなります。」

と述べられています。



4. 「テーマ別観光による地方誘客事業」に 明治日本の産業革命遺産が選定されました

観光庁が平成 28 年度事業対象の公募を行っていた「テーマ別観光による地方誘客事業」において、7 事業のひとつとして明治日本の産業革命遺産が選定されました。

「テーマ別観光」とは、共通の観光資源により地方誘客を図ることを目的とし、複数地域のネットワーク形成と、課題や成功事例を共有することによる効果的な観光振興を図るもので、3 年間の継続予定事業となっております。

明治日本の産業革命遺産においては、各構成資産をつなぎ、周遊する仕組みを構築することを目指し、ガイドマップの作成などを進めていく計画でございます。

こちらに関しては、日本経済新聞 8 月 17 日付夕刊（1 面）においても紹介されております。

参照

http://www.mlit.go.jp/kankocho/news05_000219.html

（観光庁ホーム > 報道・会見 > 1 報道発表 > 2016 年 > 「テーマ別観光による地方誘客事業」を 7 件選定しました）

【本件に関するお問い合わせ先】

一般財団法人産業遺産国民会議 事務局

〒160-0008 東京都新宿区三栄町 26-3 インターナショナルプレイス 5 階

電話番号 03-3357-6210 FAX 番号 03-5363-2616

info@sangyoisankokuminkaigi.com www.sangyoisankokuminkaigi.com